

# Welcome! World Champions

スキーオリエンテーリング世界選手権大会スプリント競技 2008年3月4日 北海道留寿都村

Welcome, World Champion!  
会場アナウンスに迎えられたのはロシアの新星・アンドレイ・ラモフ。そうこれは世界選手権なのだ。

2009年3月4日 北海道留寿都村  
スキーオリエンテーリング世界選手権  
スプリント競技



優勝したアンドレイ・ラモフ（ロシア）  
最終コントロールからフィニッシュに向かう途中、場内アナウンスで勝利を確信する。

1	Hannele Tonna	FIN	0:10:09
2	Helene Söderlund	SWE	0:10:26
3	Tatiana Vlasova	RUS	0:10:28
4	Tatyana Kozlova	RUS	0:10:29
5	Liisa Anttila	FIN	0:10:31
6	Josefine Engström	SWE	0:10:41
28	酒井佳子	日本	0:13:21
35	高橋美和	日本	0:16:38
36	白鳥桂子	日本	0:19:11

## 最終走者が優勝

会場ではウォルフガングの喋る実況英語放送が響いている。男子のレースもいよいよ終わり、最終走者のフィニッシュを残すのみという時だった。最終走者のアンドレイ・ラモフ（ロシア）が突如会場に姿を現わし、巢晴らしい速さでフィニッシュレーンを駆け上ってゆく。どうやら1位タイムを更新しそうだ。

「ようこそ、世界チャンピオン！」  
会場アナウンスの声が場内に鳴り響く。なんてカッコいい終わりかたなんだ。

この日まで、ずっと大会準備を続けてきた筆者・木村は準備の疲れを引きつったまま、大きな感慨もなく大会当日を迎えてしまった。繰り広げられる優勝争いに目にして、世界選手権が始まっているんだという思いを強くした。

午後から女子の競技が始まった。ここでも最終スタートのハンネル・トンナ（フィンランド）が最後の最後に優勝を決めた。世界選手権にふさわしい劇的なレースだった。



日本の柴田達真（しばたつつま）  
世界選手権男子スプリント競技中

## ニッポン振るわず

スプリント種目は日本にとって一番上位進出の可能性がある競技だと思われていた。だが日本人最高順位は堀江の23位。これは前回の世界選手権モスクワ大会の順位と同じ。ホーム日本での開催ではこれを上回る順位が期待されたが、更新はならなかった。

(木村佳司)

### 男子スプリント結果

1	Andrey Lamov	RUS	0:10:43
2	Olli-Markus Taivainen	FIN	0:10:58
3	Staffan Tunis	FIN	0:10:59
4	Eivind Tonna	NOR	0:11:04
5	Andrey Grigoryev	RUS	0:11:05
6	Matti Keskinarkaus	FIN	0:11:18
23	堀江守弘	日本	0:12:31
32	田中陽希	日本	0:13:11
46	高橋善徳	日本	0:15:39
49	柴田達真	日本	0:17:29

### 女子スプリント結果



女子表彰者 中央が優勝ハンネル・トンナ（フィンランド）